

本事業の自走化計画

① 自走化の実現に向けた取組内容【2 ページ以内】

1. 授業料改定等による独自財源確保

千葉大学においては、2019 年 1 月にグローバル人材育成“ENGINE”プランを策定・発表した。これは本学の掲げる次世代型グローバル人材育成を実現するため、SGU の取組をさらに拡大・進化させるものであり、以下の三本の重点施策を打ち出している。

(1) 海外留学環境の充実【国際性の涵養・多様な価値観】

…全学生に留学必修化，留学担当教職員の配置

(2) グローバル教育の充実【語学力・ディベート力の向上】

…外国人教員新規配置による英語専門教育，学部から大学院までの語学支援

(3) いつでもどこでも学べる環境整備【俯瞰力の向上】

…ICT を活用した多方向個別学習システム



[ENGINE プレスリリース資料]

特に(1)，(2)については、SGU 事業を通して実施してきた新規派遣・受入プログラムの開発や、国際日本学の充実・英語教育改革等をはじめとした各種取組を継続・拡充するものである。これら施策群の実現のため、授業料改定を行い安定的な財源を確保することとした。

なお、ENGINE は日本人学生が主な対象ではあるが、双方向型の協働学修プログラムも引き続き拡充するほか、外国人教職員の採用等による外国語による授業の増加や留学生支援等も含めたキャンパス全体のグローバル化及び国際水準の教育を実現することで、海外学生の留学先としての魅力を高める効果も見込んでいる。

Chiba University Aims For Globalization!

千葉大学は、文部科学省の「スーパーグローバル大学等事業（スーパーグローバル大学創成支援）」のタイプB（グローバル化牽引型）に採択されました。

- 2021 全学特許センター・プログラム本格開始
- 2019 飛び入学全学推進協議
- 2018 ダブルメジャー-TOKUJHISA SCHOOL
- 2017 海外校設置バンコクマドドン-千葉大学
- 2016 国際教養学部設置/メジャーマイナーサーティファケート本格実施、SULA導入、6ターム制開始
- 2014 スーパーグローバルプログラム採択/REISINGプログラムスタート/ナンバリング完了
- 2012 グローバル人材育成プログラム採択/skipwiseプログラム（派遣留学）スタート

今から10年後の未来に皆さんはどうなっているでしょうか？

千葉大学は、**世界トップクラスのグローバル人材育成**を実現します！

千葉大学で日本を代表する**グローバル人材を目標しませんか？**

千葉大学は人間力のある人材の育成を強化します。人間力とは、様々な事業を創出し、そこから新たな成長をもとに、エキサイトとして実践する力です。この人間力はグローバル人材とならううえで大変重要な力です。千葉大学は4つの改革を進め、人間力を身につけたグローバル人材を育成するために生まれ変わります。

千葉大学長
徳久 剛史

4 REFORMS

千葉大学を新生する4つの改革

1 ガバナンス改革による新生

- 国際教養学部の設置<教養教育を改革しグローバルな教養教育を国際日本学を中心に推進>
- 共生教育の推進<チームで課題を解決するプロジェクト型総合教育+英語での日本人・留学生の共生を実現>
- 全学教育運営支援組織の構築<教員と職員の中期的な存在となる新たな人材SULA(Super University Learning Administrator)を育成し、学生一人一人に対応したきめやかなサポートを実現>
- 教職員の資質能力をグローバル化<海外でのFD・SD研修を積極的に推進し、教職員改革でグローバル化>

2 プログラム改革による新生

- ダブルメジャー制度によるイノベーション人材育成<TOKUJHISA SCHOOL>
- 留学のための飛び入学「国際教養学部プログラム」設置<国際教養学部で実施>
- 国際日本学の必修化<6単位必修>
- セメスター派遣・受入プログラム
- 大学院ダブルメジャー・メジャーマイナー・プログラム

3 学修制度改革による新生

- 飛び入学の拡大<より多くの学部で飛び入学を受け入れる>
- 多様な入試の実施<国際バカロレア入試に対応>
- 学修費の見直し<6ターム制の導入：サマースクール等に参加しやすくなる>
- 学内教育制度の国際標準化<コース・ナンバリング・システム：担当学部・履修履修すべき履修等が一目でわかるキャンパスの実装化・海外から留学したい学生にもわかりやすいシステム/ダブルポート・フレキシブルの導入：学生一人一人の学修をきめ細かくサポートする>

4 グローバル・ネットワーク改革による新生

- 海外キャンパスの設置<バンコクに設置>
- アライアンス交流の推進<アセアン大学ネットワーク(AUN)やイギリスのラッセルグループなど世界の多様なアライアンス（連合）との連携>

3 ABILITIES

人間力育成のための3つの力

俯瞰力
FORMING
an overview

+
発見力
DISCOVERING
new perspectives

+
実践力
FINDING
practical solutions

千葉大学では、人間力を身につけるために、3つの力を育成します。俯瞰力育成は、国際日本学を中心とした全く新しい教養教育で実現します。発見力は、進化したアクティブラーニングによるイノベーション教育で実現します。そして、発見した課題を積極的に解決できるような実践力のある「プロフェッショナル人材」の育成を目指します。

4 ORIGINAL GOALS

千葉大学を新生する4つの独自目標

753+1 PLAN

シチゴサントスイチ

700科目以上、および英語による国際標準化された授業を実施します。そのために、外国人教員の比率を上げたり、留学生との共同研究プログラムを拡大させます。シラバスも、日本の二言語化を目指します。

入学定員の50%に相当する2,000人の学生を海外に送り出す計画です。そのために、海外キャンパスの設置や短期プログラムの充実を図り、海外の卒業生と連携を取りながら拡大させていきます。

3,000人の留学生を受け入れます。日本の文化体験プログラムから様々な分野の短期集中プログラムを充実させ、サマープログラムも並行して展開します。多様な多彩なプログラムを展開します。

「飛び入学」と言えば千葉大学です。新たに留学費用の飛び入学を実現します。それ以外にも国際バカロレア入試や海外での入試を実施し、多様な入試で入学定員の10%＝240人を選抜します。

[千葉大学スーパーグローバル創生支援“RISING”パンフレット]

また、上記の他にも以下のような方策で自己財源の確保に努めている。

- ・SEEDS 基金（千葉大学の寄附金）において用途特定の寄附金を設定。
- ・ショート・プログラムでの料金徴収による自立化（2014年度より開始）。
- ・資産活用、財産貸付、生產品の売払い。
- ・共同研究・受託研究や寄付金等外部資金の獲得。
- ・業務の効率化・合理化等によるコスト削減。

2. 全学的体制の整備

- ・SGUの取組については中期目標・計画には既に内在化しているほか、全学の教育戦略を束ねる学長直轄の国際未来教育基幹においても次世代型人材育成計画“Garnet Plan”及びそのアクションプランを策定し、当該基幹におけるPDCAサイクルにより改革を推進する、全学を挙げた体制となっている。
- ・ENGINEプランに伴う授業料改定については、これまでもワーキンググループによる詳細な検討を重ねてきており、2019年度からは実施体制をさらに強化するため、副学長（教育・国際担当）ポストを新設し、2020年度の制度始動に向けた準備を進めている。
- ・その他、外部資金の獲得を担う体制として、民間経験の豊富な人材をファンドレイザーとして雇用し基金室に配置、URAをリサーチアドミニストレーター室に配置する等により、外部資金獲得の体制を整えている。

② 取組内容の年度別実施計画【2ページ以内】	
<p>【2019 年度】</p> <p style="text-align: right;">[増収見込額 (※) : -]</p> <p style="text-align: center;">(授業料改定後の体制整備のため、運営費交付金を別途措置済み。)</p> <p>(1) 海外留学環境の充実</p> <p style="padding-left: 20px;">(1-1) プログラムの運営及び新規開発・拡充</p> <p style="padding-left: 20px;">(1-2) 留学担当職員の配置</p> <p style="padding-left: 20px;">(1-3) 研究留学環境整備に向けた検討</p> <p>(2) グローバル教育の充実</p> <p style="padding-left: 20px;">(2-1) 英語教育改革推進体制等の整備</p> <p style="padding-left: 20px;">(2-2) 国際日本学カリキュラム充実の検討</p>	
<p>【2020 年度】</p> <p style="text-align: right;">[増収見込額 (※) : 393 百万円]</p> <p>(1) 海外留学環境の充実</p> <p style="padding-left: 20px;">(1-1) プログラムの運営及び新規開発・拡充</p> <p style="padding-left: 20px;">(1-2) 留学担当職員の配置</p> <p style="padding-left: 20px;">(1-3) 研究留学環境整備</p> <p style="padding-left: 20px;">(1-4) 全員留学1年目 1年次学生の留学開始</p> <p>(2) グローバル教育の充実</p> <p style="padding-left: 20px;">(2-1) コミュニケーション英語必修化</p> <p style="padding-left: 20px;">(2-2) 国際日本学カリキュラム充実</p>	
<p>【2021 年度】</p> <p style="text-align: right;">[増収見込額 (※) : 786 百万円]</p> <p>(1) 海外留学環境の充実</p> <p style="padding-left: 20px;">(1-1) プログラムの運営及び新規開発・拡充</p> <p style="padding-left: 20px;">(1-2) 留学担当職員の充実</p> <p style="padding-left: 20px;">(1-3) 研究留学環境整備</p> <p style="padding-left: 20px;">(1-4) 全員留学2年目</p> <p>(2) グローバル教育の充実</p> <p style="padding-left: 20px;">(2-1) コミュニケーション英語必修化2年目</p> <p style="padding-left: 20px;">(2-2) 国際日本学実施</p>	
<p>【2022 年度】</p> <p style="text-align: right;">[増収見込額 (※) : 1,067 百万円]</p> <p>(1) 海外留学環境の充実</p> <p style="padding-left: 20px;">(1-1) プログラムの運営及び新規開発・拡充</p>	

<ul style="list-style-type: none"> (1-2) 留学担当職員の充実 (1-3) 研究留学環境整備 (1-4) 全員留学3年目 大学院博士前期課程全員留学完了 (2) グローバル教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> (2-1) 専門教育英語必修化 (2-2) 国際日本学実施
<p>【2023 年度】</p> <p style="text-align: right;">[増収見込額 (※) :1,328 百万円]</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 海外留学環境の充実 <ul style="list-style-type: none"> (1-1) プログラムの運営及び新規開発・拡充 (1-2) 留学担当職員の充実 (1-3) 研究留学環境整備 (1-4) 全員留学4年目 大学院博士後期課程全員留学完了 (2) グローバル教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> (2-1) 専門教育英語必修化2年目 (2-2) 国際日本学実施
<p>【2024 年度以降】</p> <p style="text-align: right;">[増収見込額 (※) :2024 年度 1,345 百万円, 2025 年度 1,361 百万円]</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 海外留学環境の充実 <ul style="list-style-type: none"> (1-1) プログラムの運営及び新規開発・拡充 (1-2) 留学担当職員の充実 (1-3) 研究留学環境整備 (1-4) 全員留学 2025 年度以降に全課程全員留学完了 (2) グローバル教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> (2-1) 英語カリキュラム等見直し (2-2) 国際日本学カリキュラム等見直し

※…授業料改定による全体の増収見込額（対 2018 年度比）であり，完成年度の 2025 年度までの学年進行に伴う増収見込額を記載している。このうち SGU 事業相当分については調整中。